

(財)東京都歴史文化財団はつぎの施設を管理運営しています。

東京都庭園美術館
TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM

東京都江戸東京博物館
TOKYO METROPOLITAN EDO-TOKYO MUSEUM

江戸東京たてもの園
EDO-TOKYO OPEN AIR ARCHITECTURAL MUSEUM

東京都写真美術館
TOKYO METROPOLITAN MUSEUM OF PHOTOGRAPHY

東京都現代美術館
MUSEUM OF CONTEMPORARY ART TOKYO

東京都美術館
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM

東京文化会館
TOKYO BUNKA KAIKAN

東京芸術劇場
TOKYO METROPOLITAN ART SPACE

トーキョーワンダーサイト
TOKYO WONDER SITE

財団 東京都歴史文化財団
法人 TOKYO METROPOLITAN
FOUNDATION FOR
HISTORY AND CULTURE



「トーキョー・アート・ナビゲーション」
携帯サイトへGO!
(財)東京都歴史文化財団各施設の情報も
チェックできます → tokyoartnavi.jp

ART NEWS TOKYO 2009.10.12 発行日:2009年10月12日(発行:4.7.109発行) 発行:財団法人 東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 東京都現代美術館 企画・制作:蜷川実花
アート・ニュース・トーキョーの著作権は株式会社「アート・ニュース・トーキョー」(子会社)にあり、無断で複製・転載を禁じます。 © Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture 本誌掲載の団体名、写真の権利等は、複製を禁じます。

2009.10-12



ART NEWS TOKYO

蜷川実花× 東京都現代美術館



アート・ニュース・トーキョー
東京+アート+カルチャー

これまで見た展覧会で 蜷川実花が印象に残ったものとは

女性に支持を受けているフォトグラファーの蜷川実花さんに、東京都現代美術館を中心に展覧会の思い出を語っていただきました



美術館に求めるのは 圧倒されるライブ感

美術館に関する思い出はたくさんあります。ちょうどスポンジみたい何に何でも吸収できる中学・高校生時代、日本はバブルの絶頂期でした。あの頃は、今では考えられないような名品が、日本に来てたでしょう？

当時私は、池袋沿線に住んでいたこともあって、今はなきセゾン美術館によく通っていたのですが、クリムトの《接吻》ほか数々の代表作が公開された『ウィーン世紀末展』など、本当に豪華な展覧会が行われていました。ちょうど同じ頃、東京都庭園美術館で開かれた写真家「ヘルムート・

ニュートン』展も、強烈に覚えています。若かったのが今より素直に感動できたし、それらがすんなりと自分の中に入ってきました。

ただ、こういう展覧会を見て「アーティストになろう！」と触発されたり、誰かの影響を受けた、ということはなかったと思います。それ以前から、表現者になりたいという気持ちはありました。とはいえ、美術館で作品を見るのではなく、いつか発表する側になりたいな、という思いは、この頃から強くなったのかもしれない。

東京都現代美術館の展覧会で印象的だったのは、なんと言っても2006年に行われた『大竹伸朗 全景 1955-2006』です。日本を代表する

現代美術家・大竹伸朗さんの、30年にわたる仕事を紹介する展覧会だったのですが、これは本当に面白かった。自分でも2回ぐらい行きましてし、何人もの知り合いに勧めました。とにかく凄かったのは、この大きな現代美術館の3フロアを、天井から床まで作品で埋め尽くした物量の迫力。美術館に来たとたん、作品の量に圧倒されるあの感じは、会場に足を運ばなければわからないライブ感がありました。本当に、「量は力なり」を思い知らされた展覧会だったと思います。

10月31日から、ファッションの歴史を紐解きながら、「ラグジュアリーとは何か？」を考察する『ラグジュアリー：ファッションの欲望』が始まりますね。私は広告の仕事で、服を撮影することがよくあるのですが、そういう時に写す服は、安くて着やすければいいという大量生産の服と違って、それを着る人も撮影する人も、大変なエネルギーが必要なんです。自分もこの服にふさわしくなければいけない、という気迫のようなものですね。ですから外見を装うことはとても重要で、そこにはポリシーがなければならぬ、と考えています。そういった部分をどう見せてくれるのか、その点を楽しみにしています。



PROFILE

にながわ・みか 東京生まれ。アートだけでなく、ファッション、音楽、広告などの幅広いジャンルで活躍するフォトグラファー。2001年木村伊兵衛写真賞、2006年VOCA展大原美術館賞など、数々受賞。2007年映画『さくらん』を監督。現在、個展『蜷川実花展 地上の花、天上の色』が日本各所を巡回中。
<http://ninamika.com>(パソコン)、<http://ninamika-m.com>(携帯)

東京都現代美術館

1995年、木場公園内にオープンした、日本でも数少ない現代美術を専門とする美術館。今年カフェやショップなどがリニューアルされた。巨大インスタレーションを置いても遜色のない広大なホワイトキューブは、2002年の『横尾忠則 森羅万象』や、2006年の『大竹伸朗 全景 1955-2006』などでその威力を発揮。国内外の戦後の作家を中心とした作品コレクションは4000点を超えており、それらは常設展示室で紹介されている。



メゾン・マルタン・マルジェラ ジャケット 2006年春夏
© Maison Martin Margiela Photo by Marina Faust, Paris

ラグジュアリー：ファッションの欲望

東京文化発信プロジェクト ラグジュアリー：ファッションの欲望 特別展示
妹島和世による空間デザイン／コム・デ・ギャルソン
10月31日(土)ー2010年1月17日(日)

時代とともに変わる豊かさの形を
ファッションの中で考える

日本語でしばしば「贅沢」と訳される「ラグジュアリー」とは、「社会の余剰から生み出される豊かさの形」と言えるでしょう。本展では17世紀から現代にいたるファッションを、「ラグジュアリー」という視点から再考します。また、東京文化発信プロジェクトによる特別展示では、かつてないものを創り続けるデザイナー・川久保玲による、コム・デ・ギャルソンの作品を紹介。こちらは建築家・妹島和世の空間デザインでお楽しみください。

入場料：一般1,200(960)円、学生900(720)円、中高生600(480)円、65歳以上800(640)円。
()内は20名以上の団体料金。小学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその付添者2名、特別展示のみの観覧は無料。第3水曜日は、65歳以上の方は無料。会場：(ラグジュアリー展)東京都現代美術館 企画展示室地下2階、(特別展示)アトリウム 休館：月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月28日ー1月1日) 主催：(ラグジュアリー展)(財)東京都歴史文化財団 東京都現代美術館、公益財団法人 京都服飾文化研究財団、(特別展示)東京都、東京都現代美術館・東京文化発信プロジェクト室(財団法人東京都歴史文化財団)、公益財団法人 京都服飾文化研究財団



ガブリエル・シャネル ドレス (1928-29年)
京都服飾文化研究財団所蔵 広川泰士撮影

レベッカ・ホルン展

10月31日(土)ー2010年2月14日(日)

ドイツを代表する現代アーティスト、レベッカ・ホルン(1944-)。彼女は、1970年代の初頭より「身体機能の拡張」という視点からパフォーマンスを行い、そこで使われたさまざまな装置もアートとして高く評価されています。パフォーマンス映像を含む30余点の作品で、彼女の活動の軌跡を紹介します。

入場料：一般1,200(960)円、学生900(720)円、中高生600(480)円、65歳以上800(720)円。
()内は20名以上の団体料金。小学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその付添者2名は無料。第3水曜日は、65歳以上の方は無料。会場：東京都現代美術館 企画展示室3階・1階 休館：月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月28日ー1月1日) 主催：(財)東京都歴史文化財団 東京都現代美術館、ドイツ文化センター

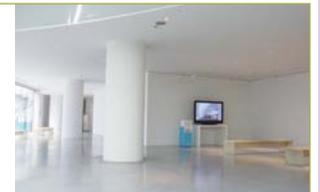


《同時に二本の鋏で髪を切る「ベルリン・エクササイズ」より》
Cutting One's Hair with Two Scissors at Once, Berlin Exercises, 1974-75, film
© 2009: Rebecca Horn

おすすめスポット

自然光がたくさん入る心地よいギャラリー

ミュージアムショップ奥にある屋外スペース「メディアコート」を臨むギャラリーでは、ベンチに座って休憩したり、展示会の関連映像を見ることが出来ます。来年の1月17日までは、このメディアコートで若手建築家ユニット・大西麻貴+十田有希の作品を展示。ギャラリーから眺めたり、作品の中に入ったり、さまざまな楽しみ方を無料で体験できます。



ココが見どころ!

王冠でできた服がなぜ「ラグジュアリー」なのでしょう。捨てられていたモノをこの世にひとつだけの価値あるものとしてよみがえらせる作り手のユニークな発想や、制作にかけられた労力と時間。それらもまた、私たちが求める豊かさのひとつといえるかもしれません。

東京都現代美術館 学芸員 西川美穂子



《色絵花鳥文蓋付大鉢》(1720～50年代) 高:635mm ©USUI COLLECTION

日本磁器ヨーロッパ輸出350周年記念 パリに咲いた古伊万里の華

10月10日(土) — 12月23日(水・祝)

美しき古伊万里
西洋を魅了した日本の磁器に見る東西文化の交流

1659年10月15日に、オランダ東インド会社による有田磁器の輸出が始まってから、今年で350年目にあたります。これを記念して、パリを中心にヨーロッパで収集された古伊万里のコレクション「碓井コレクション」を、日本で初めて公開します。その昔、磁器をつくる技術がなかったヨーロッパでは、白く美しい東洋の磁器は憧れの的であり、王侯貴族にとっては権威の象徴でもありました。当初ヨーロッパに磁器を供給していた主な国は、景德鎮で有名な中国でした。しかし17世紀半ば、中国の戦乱で貿易が難しくなると、日本の磁器が注目されます。日本独自の美意識によって生まれ、西洋諸国で大変な人気を博した柿右衛門様式や、ヨーロッパの宮殿を装飾するためにつくられた豪華でユニークな磁器の数々……。多種多様な作品は、当時の作陶技術の高さとともに、鎖国下にあっても活発だった東西の文化交流を教えてくれるでしょう。

- 入場料** 一般1,000(800)円、学生800(640)円、小中高生と65歳以上500(400)円。()内は20名以上の団体料金。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその付添者1名は無料。第3水曜日は、65歳以上の方は無料。
- 会場** 東京都庭園美術館
- 休館** 第2・4水曜日、ただし12月23日は開館
- 主催** (財)東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、日本経済新聞社
- 後援** オランダ王国大使館、東京都、フランス大使館
- 協賛** NEC、日本興亜損害保険
- 特別協力** 碓井コレクション
- 協力** 日本航空



《色絵柴垣松竹梅鳥文皿》(1670～90年代)
径:216mm ©USUI COLLECTION



《染付漆装飾花東菊文蓋付大壺》
(1690～1730年代) 高:910mm
©USUI COLLECTION



ココが見どころ!

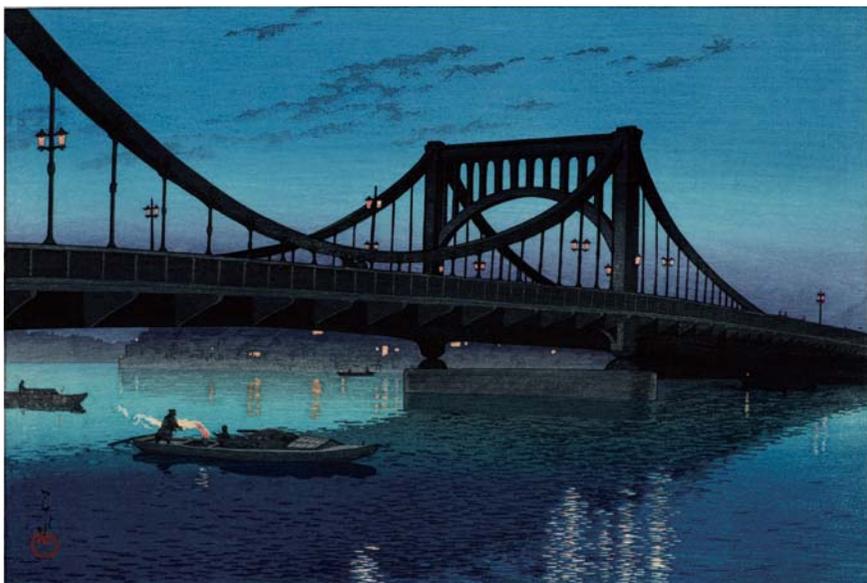
輸出用に制作された磁器の中には、ピアマグやリキュール入れなどヨーロッパの生活習慣に基づいた形のものがあります。日本の陶工達はビールの味など知らないまま、それらを作っていたのでしょう。そんな異文化との出会いを、実際に海を渡った古伊万里から感じていただけたと思います。
東京都庭園美術館 学芸員 河村三枝子

おすすめスポット

美術館の招きネコ

当館の庭園には、名物ネコが日々暮らしています。もう10年以上、美術館スタッフやお客様に可愛がられている「しーちゃん」の最近のお気に入りにはミュージアムショップ。「しーちゃん」と声をかけると、機嫌のよいときには返事をしてくれます。他にも2、3匹のネコが近隣から遊びに来ますので、庭園散策の際に探してみてください。





川瀬巴水《清洲橋》1931(昭和6)年 スミソニアン協会アーサー・M・サックラー・ギャラリー蔵
Arthur M. Sackler Gallery, S2003.8.761

特別展

よみがえる浮世絵

—うるわしき大正新版画一展

9月19日(土) — 11月8日(日)

世界最高峰の新版画コレクション
ムラー・コレクションを日本初公開

近代化が進む大正の東京において、江戸時代から伝わる浮世絵版画の技法で生まれた「新版画」。橋口五葉、川瀬巴水、山村耕花、吉田博らが描いたモダンな風俗や、情緒ある風景が、彫師や摺師の確かな技術で美しく仕上げられ、それらは海外でも高く評価されました。米国スミソニアン協会蔵のロバート・ムラー(1911-2003)コレクションから、新版画30点を日本初公開いたします。また、これを含め国内の優品や資料約250点を展示いたします。

入場料:一般1,300(1,040)円、学生1,040(830)円、小中高生と65歳以上650(520)円。()内は20名以上の団体料金。障害者手帳をお持ちの方とその付添者2名は無料。**会場:**東京都江戸東京博物館 1階展示室 **休館:**月曜日(祝日の場合は翌日) **主催:**(財)東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、朝日新聞社



山村耕花《四世尾上松助の蝙蝠安》
1919(大正8)年 スミソニアン協会アーサー・M・サックラー・ギャラリー蔵 Arthur M. Sackler Gallery, S2003.8.3434

特別展

いけばな

～歴史を彩る日本の美～

11月23日(月・祝) — 2010年1月17日(日)

自然の草花や樹木を素材に表現される「いけばな」は、海外でも広く知られる日本の伝統的造形美術のひとつです。多彩ないけばなの変遷を、花伝書、絵巻、屏風といった記録類や絵画、花器の名品など指定文化財を含む多数の作品でとどめます。現代諸流によるいけばなも展示します。

入場料:一般1,200(960)円、学生960(760)円、小中高生と65歳以上600(480)円。()内は20名以上の団体料金。障害者手帳をお持ちの方とその付添者1名は無料。**会場:**東京都江戸東京博物館 1階展示室 **休館:**月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月28日-1月1日)、1月5日 **主催:**(財)東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、読売新聞社



立花図屏風(部分)
華道家元池坊総務所蔵



ココが見どころ!

新版画の精緻な彫りや摺りの技法、鮮やかな色彩を、ぜひ堪能してください。初公開となる川瀬巴水のスケッチブックや原画、版木、順序刷りなどの資料や映像などで、制作の様子や制作現場の様子もご覧いただくことができます。

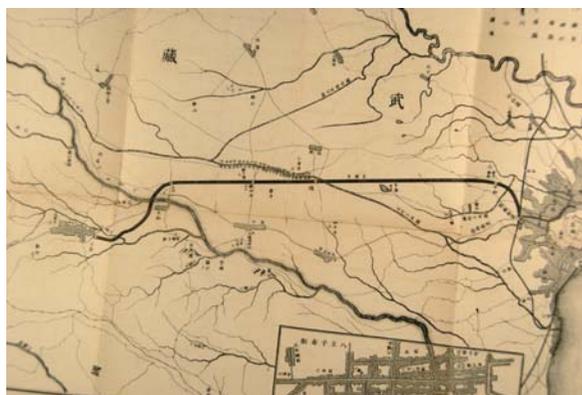
東京都江戸東京博物館 学芸員 小山周子

おすすめスポット

記念写真はここで! 巨大縁起熊手

縁起熊手は、「開運」や「商売繁盛」を祈る縁起物。東京都江戸東京博物館1階の企画展示室付近のロビーには、高さ4m、幅3mという巨大な縁起熊手(浅草鷲神社寄贈)が飾られています。千客万来を願って設置されたこの熊手は、記念写真や待ち合わせには絶好のスポットです。また、熊手の飾りものは季節ごとに「展示替え」をしますので、こちらもお見逃しなく!





上:甲武鉄道茂与利名所案内 下:甲武鉄道路線略図(部分)

甲武鉄道と多摩

～中央線開通120周年記念～

10月10日(土)ー12月20日(日)

オレンジ色の中央線

その生い立ちと歴史や未来を考える

東京駅から八王子の高尾駅、さらに山梨方面まで、郊外を走る通勤型電車として親しまれている中央線。その前身である「甲武鉄道」は、多摩地域と都心を結ぶために、明治22(1889)年に開通しました。この鉄道が設置されてから、120年目を記念して開催される本展では、甲武鉄道の歴史をたどり、中央線の未来を考えます。今では国内有数の利用者と、朝の過密ダイヤが名物となっている中央線ですが、甲武鉄道が開通した当初、新宿駅ー立川駅間の停車駅はわずかに3駅、1日4往復しかありませんでした。しかし、鉄道は次第に駅の数を増やし、市民の中に溶け込んでいきます。「蒸気機関車」だけでなく、明治37(1904)年には飯田町ー中野間を電化して「電車」を走らせていたことでも知られ、明治39(1906)年に国有化されて中央線となったと同時に、国有鉄道初の電車＝国電の祖という栄誉にも浴しました。ふだん何気なく利用している中央線ですが、その歴史を知れば様々な興味がわいてくることでしょう。

入場料 一般400(320)円、学生320(250)円、中学生(部外)、高校生と65歳以上200(160)円、小学生以下・中学生(都内)無料。()内は20名以上の団体料金。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその付添者2名は無料。

会場 江戸東京たてもの園
休園 月曜日(祝日の場合は翌日)
主催 東京都 江戸東京たてもの園



中央線多摩川鉄橋絵葉書



中央線開通90周年記念切符



国分寺生の家土地附 案内パンフレット

※所蔵はすべて東京都江戸東京博物館



ココが見どころ!

東京を中心に首都圏には多くの鉄道網が張り巡らされています。その中でも、多摩を横断する中央線は、首都圏を代表する鉄道路線のひとつではないでしょうか。今回の展示では、多摩地域と中央線との関わりについて考えます。

江戸東京たてもの園 学芸員 眞下祥幸

おすすめスポット

八王子千人同心組頭の家

八王子千人同心は、八王子とその周辺に居住した郷土集団です。もとは甲斐武田氏の家臣団でしたが、後に徳川家康の配下となって、八王子で甲斐国境の警備にあたりました。戦乱が収まると、日光の火の番を主な任務としました。その組頭が住んだ江戸時代後期のこの家は、床の間や長押、式台付きの玄関など、当時の一般的な民家に比べ、高い格式をもっています。





《マタ茶園で働く子供、ルワンダ》(1991年) セバスチャン・サルガド / Amazonas images

セバスチャン・サルガド AFRICA

～生きとし生けるものの未来へ～

10月24日(土) — 12月13日(日)

サルガドが見た「見捨てられた大陸」
アフリカの現状に迫る

フォト・ドキュメンタリーの先駆者であり、今なお精力的に活動しているセバスチャン・サルガド(1944-)。彼は1970年代から今日まで、アフリカを撮影してきましたが、この大陸の飢餓や砂漠化などの問題は一向に改善されていません。展覧会では、サルガドの写真で再度アフリカを振り返るとともに、世界中のあらゆる地取材し地球の恵みと人類の歴史を見直すシリーズ「GENESIS(ジェネシス/起源)」の最新作など約100点を紹介します。

入場料:一般800(640)円、学生700(560)円、中高生と65歳以上600(480)円。()内は20名以上の団体料金。小学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその付添者1名は無料。第3水曜日は、65歳以上の方は無料。 **会場:**東京都写真美術館 2階展示室 **休館:**月曜日(祝日の場合は翌日) **主催:**(財)東京都歴史文化財団 東京都写真美術館、朝日新聞社



《ヴィルガ国立公園ピソケ火山のクレーター湖。手前の植物はジャイアントセネシオ、ルワンダとコンゴ民主共和国の国境地域》(2004年)
セバスチャン・サルガド / Amazonas images

日本の新進作家展 vol.8

「出発 — 6人のアーティストによる旅」

12月19日(土) — 2010年2月7日(日)

写真や映像の可能性に挑戦し、常に将来性のある作家を発掘している東京都写真美術館の、8回目となる新進作家展。今回は、石川直樹、さわひらき、内藤さゆりら6人のアーティストたちが、「旅」をテーマに作品を発表。日本国内から架空の風景まで、旅の景色を鑑賞いただけます。

入場料:一般700(560)円、学生600(480)円、中高生と65歳以上500(400)円。()内は20名以上の団体料金。小学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその付添者1名は無料。第3水曜日は、65歳以上の方は無料。 **会場:**東京都写真美術館 2階展示室 **休館:**月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月28日-1月1日) **主催:**(財)東京都歴史文化財団 東京都写真美術館、東京新聞



《2007年4月 長野 夜間瀬》(2007年) 尾仲浩二



ココが見どころ!

とにかくサルガドの写真は美しく、説得力に満ちています。とくに今回の見どころは日本初展示となるアフリカの雄大な自然を撮った新作。これまで人間の生きざま取材し続けてきた作家が、近年、環境や自然に向き合い新たな境地に達しようとしています。ぜひ彼の生の写真をご堪能ください。
東京都写真美術館 学芸員 丹羽晴美

おすすめスポット

写真美術館にふさわしい厳選された作品を上映

写真美術館1階ホールは、将来を担う有望な若手新進監督の映画作品や、美術館にふさわしい良質な作品をロードショー上映しています。近年は、「アート&ヒューマン」をテーマに、心にずっしりと響く作品の選定に重点を置いています。
座席数:190席 **休館日:**月曜日(祝日の場合は翌日)



冷泉家 王朝の和歌守展

10月24日(土) — 12月20日(日)

冷泉家「奇跡の文庫」より
国宝・重要文化財を一挙公開

『古今和歌集』を編んだ藤原定家のほか、藤原俊成や為家といった和歌の名人を祖に持つ冷泉家は、平安の昔より、「歌の家」として日本の文化や文学に大きな影響を与えてきた名家。冷泉家約800年の歴史の中で、勅選集(天皇らの命により編さんされた和歌集)や、私歌集(個人の和歌集)、歌学書などの貴重な古典籍を収集し、それらを「御文庫(おぶんこ)」と呼ばれる土蔵に収めて伝えてきました。展覧会では、数々の戦禍や災禍を奇跡的に逃れてきた御文庫から、国宝・重要文化財合わせて約400点を含む、約500点を公開します。藤原俊成自筆の『古来風躰抄』や藤原定家自筆の『明月記』(ともに国宝)の他、美しい料紙に書き散らされた数々の名筆、また「宸翰(しんかん)」という歴代天皇の書など、日本の宮廷文化の奥深さをあらためて知ることができでしょう。なお、前期10月24日(土)~11月23日(月・祝)、後期11月25日(水)~12月20日(日)で全作品を入れ替えます。

入場料 一般1,400(1,100)円、学生1,200(900)円、高校生650(500)円、65歳以上700(550)円。()内は20名以上の団体料金。中学生以下、身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその付添者1名は無料。

会場 東京都美術館 企画展示室
休室 月曜日(祝日の場合は翌日)
主催 (財)東京都歴史文化財団 東京都美術館、(財)冷泉家時雨亭文庫、朝日新聞社、テレビ朝日

展覧会公式HP:<http://www.asahi.com/reizei/>



【桃園天皇宸翰和歌懐紙】(江戸時代)
【前期展示】



重要文化財「素性集 色紙本
(そせいしゅう いろがみほん)』
筆者未詳(平安時代中期)【後期展示】



国宝『明月記(めいげつき)』 藤原定家自筆(鎌倉時代前期)【前・後期にわけて全巻展示】

おすすめスポット

レストラン「ラ・ミュージス」

展覧会鑑賞前後の休憩は、レストラン「ラ・ミュージス」でどうぞ。伝統の味を引き継いだハヤシライス(900円)やオムライス(850円)が人気。企画展のテーマに合わせた1日50食限定の特別メニューやケーキセット(700円)もあります。大きな窓から上野公園の木々を臨めるくつろぎの空間はいかが。

営業時間：10:00(食事は11:00)~17:00 ※ラストオーダーは16:30まで



ココが見どころ!

冷泉家の歴代当主が座右に置いてきた、藤原俊成、定家、為家、冷泉為相らの書籍は、草木染めや金・銀箔加工などの装飾を施した料紙を用いて美しく仕立てられています。記された内容とともに、書と紙の調和にもどうぞご注目下さい。

東京都美術館 学芸員 栗屋朋子





上野中央通り商店会 presents

オペラ BOX

10月24日(土)開演:14:00(開場13:30)

有名グランドオペラのハイライト上演だったこれまでと異なり、今年の「東京文化会館 オペラBOX」は歌劇を全編でお届けします。第1部では神童モーツァルトが12歳の時に書いた作品「バスティアンとバスティエンヌ」を、第2部では同じくモーツァルトによる珠玉のオペラ名曲集を上演。演出に世界水準のカウンターテナーでもある彌勒忠史を迎え、東京音楽コンクール入賞者が出演します。オペラの玉手箱とも言うべき、ぜいたくな秋のひとつときをご堪能ください。

演出: 彌勒忠史 出演: バスティエンヌ/國光ともこ(ソプラノ)、バスティアン/加賀ひとみ(メゾソプラノ)、魔法使いコラ/龍進一郎(バリトン)、他 曲目: 第1部 モーツァルト/歌劇「バスティアンとバスティエンヌ」(1幕16曲)、第2部 モーツァルト珠玉のオペラ名曲集! (『フィガロの結婚』『魔笛』より、他) 会場: 東京文化会館 小ホール 料金: 全席指定3,000円 ※東京文化会館友の会割引あり 主催: 東京文化会館(財団法人東京都歴史文化財団)



彌勒忠史(演出)

東京文化会館プレミアムコンサート プラジャーク・クワルテット

スメタナ/弦楽四重奏曲 第1番 ホ短調「わが生涯より」
ヤナーチェク/弦楽四重奏曲 第1番「クロイツェル・ソナタ」
ドヴォルジャーク/弦楽四重奏曲 第14番 変イ長調 op.105

11月20日(金)開演:19:00(開場18:30)

世界中のアーティストからも「奇跡的」と評価されるすばらしい音響の東京文化会館小ホールに、一流アーティストを組み合わせた新シリーズ「プレミアムコンサート」。第1回目は、チェコの名門弦楽四重奏団「プラジャーク・クワルテット」の素晴らしいアンサンブルをお贈りします。チェコを代表する音楽家、スメタナの『わが生涯より』ほか、この公演のためにメンバーが特別に選んだ珠玉のチェコ音楽のプログラムをお楽しみに。

出演: プラジャーク・クワルテット 会場: 東京文化会館 小ホール 料金: S席5,000円、A席3,000円 ※東京文化会館友の会割引あり 主催: 東京文化会館(財団法人東京都歴史文化財団)



プラジャーク・クワルテット

舞台芸術創造プログラム

「隅田川」&「万葉集」

「隅田川」(音楽/千住明 台本/松本隆)
「万葉集」(音楽/千住明 台本/薫まどか)

12月11日(金)開演:19:00(開場18:30)

12日(土)開演:18:00(開場17:30)

「舞台芸術創造プログラム」は、先駆的・実験的な舞台作品を小ホールで発表する東京文化会館のオリジナル企画。今年、平成19年度に初演して話題になった『隅田川』(音楽/千住明、台本/松本隆)の再演と、新作『万葉集』(音楽/千住明、台本/薫まどか)を上演します。『隅田川』の能、『万葉集』の和歌。当館音楽監督である大友直人の指揮のもと、日本の古典が音楽と見事に融合する舞台となります。

出演: 指揮/大友直人、ソプラノ/小林沙羅、テノール/中嶋克彦、バリトン/和田ひでき、他 会場: 東京文化会館 小ホール 料金: S席6,000円、A席3,000円 ※東京文化会館友の会割引あり 主催: 東京文化会館(財団法人東京都歴史文化財団)



隅田川(2007年@東京文化会館)
©青柳聡

《響の森》vol.27 ニューイヤーコンサート 2010

2010年1月3日(日)開演:15:00(開場14:20)

東京文化会館音楽監督・大友直人の指揮、ソリストに日本を代表するピアニスト・小山実雅恵を迎え、東京都交響楽団の演奏でお届けする、年の始めの本格的オーケストラコンサート。ショパンのピアノ・コンチェルトとチャイコフスキーの名曲「交響曲第5番」に、お正月らしくウイナ・ワルツの人気曲「春の声」をカップリングした新春ならではの豪華プログラムです。特にショパンは、2010年が生誕200年。ピアノの詩人が残した名曲を堪能しながら、2010年の幕開けを祝ってみてはいかがでしょうか。

出演: 指揮/大友直人、ピアノ/小山実雅恵、管弦楽/東京都交響楽団 曲目: シュトラウス2世/春の声op.410、ショパン/ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 op.11、チャイコフスキー/交響曲第5番ホ短調 op.64 会場: 東京文化会館 大ホール 料金: S席6,000円、A席4,000円、B席2,000円、他 ※東京文化会館友の会割引あり 主催: 東京文化会館(財団法人東京都歴史文化財団)



大友直人(指揮)
©kaburagi-amanagroup



小山実雅恵(ピアノ)
©Katsuo Sakayori



ココが見どころ!

649席の小ホールで「隅田川」と「万葉集」の2本の創造作品をお贈りする舞台芸術創造プログラム。また、オペラ作品を上演するオペラBOX等、芸術の秋の東京文化会館は、他で味わうことのできない手作りの上質な舞台作品をお届けします。是非お越しください。

東京文化会館 事業企画課事業係長 藤野英樹

おすすめスポット

東京文化会館ギフトショップ

4月に東京文化会館直営のギフトショップがオープンしました。白を基調にした明るい店内には、マグカップやトートバック、Tシャツなどオリジナルグッズが勢揃い。7月からは素敵なパッケージでオリジナルスイーツが登場し、早くも人気を呼んでいます。その他にセレクトした商品も充実して、必ずお気に入りが見つかるはず。お土産やプレゼントにはもちろんのこと、ご自分用にもお気軽にどうぞ。

営業時間: 11:00~19:00 TEL:03-3828-2223



ラコーン・タイ公演

『赤鬼』タイ大衆演劇“リケエ”バージョン

『農業少女』タイ現代演劇バージョン

11月19日(木) — 11月23日(月・祝)

「東南アジアで最も熱い」と言われるタイの現代演劇は、かつて伝統芸能との葛藤という課題を抱えていました。1997年に野田秀樹ら日本の演劇人と共同制作した作品『赤鬼』により、その状態が打破されました。このプログラムでは、タイの現代演劇の礎ともなった『赤鬼』と、野田が2000年に書き下ろした『農業少女』のタイ語バージョンを、現地の俳優により連続上演します。※タイ語上演/日本語訳付き

作:野田秀樹 翻案・演出:『赤鬼』ブラディット・プラサートン/『農業少女』ニコン・セタン 出演:バンコク・シアター・ネットワーク 会場:東京芸術劇場 小ホール1・2 料金:前売券3,500円、当日券3,800円、2演目セット券6,000円、学生券2,000円 主催:東京芸術劇場(財団法人東京都歴史文化財団) チケット取扱:東京芸術劇場チケットサービス他 ※公演スケジュール等、詳細はホームページをご覧ください。

芸劇 eyes

ハイバイ『て』 プレビュー公演:9月25日(金)・9月26日(土)

10月1日(木) — 10月12日(月・祝)

五反田団『生きてるものはいないのか』『生きてるものか』

10月17日(土) — 11月1日(日)

グリング『jam』 12月9日(水) — 12月23日(水・祝)

未来の演劇界を担う才能を、提携公演という形で紹介する「芸劇eyes」。10月から12月は、ハイバイ、五反田団、グリングが登場します。ハイバイ『て』は、家族と認知症の祖母との問題について、作・演出の岩井秀人が描く自伝的作品。五反田団は2008年に岸田國士戯曲賞を受賞した『生きてるものはいないのか』と新作を上演。グリングは2003年に初演された『jam』を再演します。

ハイバイ/作・演出:岩井秀人 出演:菅原永二(猫のホテル)、金子岳憲(ハイバイ)、他 会場:東京芸術劇場 小ホール1 料金:前売券3,500円(全席自由) 五反田団/作・演出:前田司郎 出演:遠藤留奈、大山雄史、飯田一期、石澤彩美、他 会場:東京芸術劇場 小ホール1 料金:前売券2,500円(全席自由) グリング/作・演出:青木豪 出演:グリング、小松和重、廣川三実、松本紀保、他 会場:東京芸術劇場 小ホール1 料金:前売券4,000円(全席指定) ※各公演スケジュール・チケット取扱等、詳細はホームページをご覧ください。



『赤鬼』 『農業少女』



ハイバイ「リサイクルショップ『KOBITO』」より ©曳野若菜



五反田団+演劇計画2007『生きてるものはいないのか』(2007年@こまばアゴラ劇場)



グリング「吸血鬼」©鏡田伸幸



ココが見どころ!

野田秀樹原作の『赤鬼』と『農業少女』2つの作品を、タイ・バンコク・シアターネットワークのメンバーがリメイクします。タイの大衆演劇“リケエ”と現代演劇が、野田作品と出会うことで生まれるエネルギーあふれる舞台をお見逃しなく。

東京芸術劇場 事業係 勝 優紀

東京芸術劇場&ミュゼ川崎シンフォニーホール共同制作

第1回音楽大学

オーケストラ・フェスティバル

11月15日(日) 出演:東邦音楽大学、洗足学園音楽大学 会場:東京芸術劇場 大ホール

11月21日(土) 出演:昭和音楽大学、東京藝術大学 会場:ミュゼ川崎シンフォニーホール

11月28日(土) 出演:武蔵野音楽大学、桐朋学園大学 会場:ミュゼ川崎シンフォニーホール

12月13日(日) 出演:東京音楽大学、国立音楽大学 会場:東京芸術劇場 大ホール

※各プログラムとも開演:15:00(開場14:30)

東邦音楽大学、国立音楽大学など首都圏の8つの音楽大学が参加し、未来の音楽界を担う若手音楽家の育成と、大学相互の交流を目的に開催されるプログラムです。ひとつの公演につき、2つの音楽大学のオーケストラがそれぞれ演奏を行います。会場は、東京芸術劇場、ミュゼ川崎シンフォニーホールの2会場。無限の可能性を感じさせる学生たちのフレッシュな演奏をお楽しみください。

料金:1,000円(全席指定) 主催:音楽大学オーケストラ・フェスティバル実行委員会、東京芸術劇場(財団法人東京都歴史文化財団)、ミュゼ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)

東京芸術劇場

パイプオルガンコンサート vol.12

『4台のオルガンとテノールが奏でる~響きのクリスマス』

12月17日(木) 開演:19:00(開場18:30)

毎年クリスマスシーズンに行われる「パイプオルガンコンサート」。12回目を迎える今年のコンサートでは、劇場の大オルガンと3台のポジティブ・オルガン、計4台のオルガンが、会場を音のハーモニーで包みます。テノール歌手が加わることによって、さらに豪華なプログラムとなりました。お友達やご家族と一緒に、素敵なクリスマスコンサートはいかがですか。

出演:テノール/根岸一郎、オルガン/小林英之、新山恵理、平井靖子、湯口依子 曲目:J.J.ボーヴァルレ・シャルパンティエ/マニフィカト第7旋法(3台のオルガンとテノール) 会場:東京芸術劇場 大ホール 料金:全席指定S席2,000円、A席1,500円 主催:東京芸術劇場(財団法人東京都歴史文化財団) チケット取扱:東京芸術劇場チケットサービス他 ※詳細はホームページをご覧ください。

おすすめスポット

レストラン「トラットリア メトロポリターナ」

東京芸術劇場2階にある本格イタリアンレストラン「トラットリア メトロポリターナ」。「こだわりの空間づくり」をテーマにしたお洒落な店内で食すシェフ自慢の Pasta をはじめ、人気のドルチェも日替わりで提供する等メニューも豊富。店内には300インチの映像を映し出す大型プロジェクターも完備。各種パーティにもピッタリの充実設備も自慢です。

営業時間:11:00~22:00 ※ラストオーダーは21:30まで TEL:03-3821-9151





「アートの課題」(2008年)クロージングイベントの様子 撮影:須田俊哉

アートの課題: On the Agenda of the Arts

11月21日(土) — 2010年1月17日(日)

対話を通して、現代社会における、
アートの可能性を考える

トーキョーワンダーサイトは、過去2年にわたって、今日の多文化社会における「アートの課題」を、ドイツ文化センターとともに考えてきました。3回目となる今回のテーマは「ニュー・ commons」。異なった社会的背景を持つ国際的なアーティストによる滞在制作と作品発表を行います。また美術専門家を招いたラウンドテーブルやワークショップなどを通して、グローバル化・多様化の進む社会における「公共性」について考えます。

入場料: 無料 会場: トーキョーワンダーサイト渋谷 休館: 月曜日(祝日の場合は翌日)、12月28日-1月4日 主催: (財)東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト、GOETHE-INSTITUT ドイツ文化センター



イスラント・ハルトノ《FLOWER》(2008年)
2008年「アートの課題」での展示風景
撮影:加藤健



栗原良彰《無宙》(2009年)

0コレクションによる空想美術館 — magical museum tour 第8室

天野・栗原・森元の部屋 — オルタナ (ポスト) モダン2

10月31日(土) — 12月20日(日)

現代日本の若手アーティストの作品をまとめたかたちで身近に鑑賞できる場所を提供することを目的とし、東京という大都市から生まれる多様な表現を岡田聡コレクションより選出し展示しています。空想美術館と題した本シリーズ第8室では、今注目が集まっている3人の若手作家、天野亨彦、栗原良彰、森元嶺の作品を紹介します。

入場料: 無料 会場: トーキョーワンダーサイト本郷 休館: 月曜日(祝日の場合は翌日)、11月23日-11月27日 主催: (財)東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト 協力: 岡田聡 (アートアセファル代表)



天野亨彦《LSM》(2008年)



小畑多丘《Takuspe nokoko》(2009)

ココが見どころ!

トーキョーワンダーサイト本郷にて「TWS-Emerging 125/126/127 小畑多丘、有賀礼、林田健」展で発表する小畑多丘。BBOYING(ブレイクダンス)に親しみ、その身体表現技術や躍動を彫刻でも精力的に表現している。台座の無い木彫による人体と衣服の関係性や、BBOYの彫刻を端緒に生まれる空間を追求、緊張感と迫力あふれる作品を展開する。

おすすめスポット

クリエイター・イン・レジデンス「オープンスタジオ 2009」

トーキョーワンダーサイト青山では、アートや音楽などの創造的分野で活躍する国内外のクリエイターが常時滞在し、創作活動を行っています。その制作の現場にてクリエイターと直接交流できる機会として、月に1度「オープンスタジオ」や各分野のスペシャリストによるゲストトークも実施しています。参加費: 無料 次回開催予定日: 10月23日(金)、24日(土)、25日(日)、11月28日(土) 詳細は当館ホームページをご覧ください。(http://www.tokyo-ws.org)



10

アート&カルチャーカレンダー ART & CULTURE CALENDAR

■休館日は各館異なります。カレンダー下の休館日欄をご確認ください。
○下記は主な企画展と関連イベント、主催公演を中心としたスケジュール表です。企画展以外に、常設展示室、映像ライブラリー、図書室を利用できる館もあります。○掲載した情報は2009年9月現在の情報です。やむを得ない事情などで開催予定などが変更になることがあります。○掲載情報以外の催事、入場料、その他詳細については、各館のホームページでもご案内しています。

OCTOBER		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
東京都庭園美術館 TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM		10月1日～9日は美術館のみ休館(庭園は入園可)										日本磁器コ	ロッパ輸出350周年記念 バリに咲いた古伊万里の華 10月10日～12月23日																			
東京都江戸東京博物館 TOKYO METROPOLITAN EDO-TOKYO MUSEUM	特別展	よみがえる浮世絵 ーうるわしき大正新版画ー展 9月19日～11月8日																														
	企画展	えどはくでござらい! 江戸時代～										教科書でみたあの人、この絵～ 10月6日～11月29日																				
江戸東京たてもの園 EDO-TOKYO OPEN AIR ARCHITECTURAL MUSEUM	展示室	甲武鉄道										と多摩～中央線開通120周年記念～ 10月10日～12月20日																				
	園内	体験! 発見! 職人さん 3日～4日 10:30～										伝統工芸の実演 10日～11日 10:30～ ●武蔵野えどまる団 11日～12日 12:00～																				
東京都写真美術館 TOKYO METROPOLITAN MUSEUM OF PHOTOGRAPHY	3F 展示室	コレクション展「旅」第3部 異邦へ 日本の写真家たちが見つけた異国世界 9月29日～11月23日										セバスチャン・サルガド AFRICAー生きとし生けるものの未来へ 10月24日～12月13日																				
	2F 展示室	北島敬三 1975～1991 コザ 東京 ニューヨーク 東欧/ソ連 8月29日～10月18日										第20回日本写真作家協会展 第7回JPA公募展 10月17日～11月1日																				
	B1F 展示室	心の眼 稲越功一の写真 8月20日～10月12日										MOTコレクション 夏の遊び場ーしりとり、ままごと、なぞなぞ、ぶらんこ 7月18日～10月4日																				
東京都現代美術館 MUSEUM OF CONTEMPORARY ART TOKYO	常設展示室	メアリー・ブレア展 7月18日～10月4日										レベッカ・ホルン展 10月31日～2010年2月14日																				
	企画展示室1・3F	伊藤公象 WORKS 1974～2009 8月1日～10月4日										ラグジュアリー：ファッションの欲望 10月31日～2010年1月17日																				
	企画展示室 B2F	トリノ・エジプト展 8月1日～10月4日										冷泉家 王朝の和歌守展 10月24日～12月20日																				
東京都美術館 TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM	企画展示室	●夜間開室 2日は20:00まで開室(入場は19:30まで)										Oコレクションによる空想美術館 第8室 天野・栗原・森元の部屋ーオルタナ(ポスト)モダン2 10月31日～12月20日																				
トーキョーワンダーサイト TOKYO WONDER SITE	本郷1F	TWS-Emerging 122/123/124 海谷慶、山中慎太郎、斉藤あずさ 10月3日～25日										TWS-Emerging 125/126/127 小畑多丘、有賀礼、林田健 10月31日～11月22日																				
	本郷2・3F	環境展「絶・景ー真空のゆらぎ」8月1日～11月8日										オープンスタジオ 23日・24日・25日																				
	渋谷																															
	青山																															

●休館日：月曜日(祝日の場合は翌日) ※東京都庭園美術館は第2・4水曜日休館 ※東京都現代美術館は5日(月)～30日(金)展示替えのため休館

東京文化会館 TOKYO BUNKA KAIKAN	
主な主催公演 ●休館日:19日(月)、20日(火)	
大ホール 8日・23日	青少年のための舞台芸術体験プログラム スケジュール等詳細は施設HPへ
小ホール 9日	モーニングコンサートVol.30 藤原功次郎(トロンボーン)、 原田恭子(ピアノ) 開演:11:00(開場10:30)
ホワイエ 15日	ティータイムコンサート 開演:13:00 無料
小ホール 24日	上野中央通り商店会presents 東京文化会館 オペラBOX 演出:彌勒忠史 出演:國光ともこ、加賀ひとみ、龍進一郎、他 開演:14:00(開場13:30)

東京芸術劇場 TOKYO METROPOLITAN ART SPACE	
主な主催公演 ●休館日:7日(水)	
小ホール1 9月25日～ 10月12日	「芸劇 eyes」ハイバイ『て』 作・演出:岩井秀人 出演:菅原永二(猫のホテル)、金子岳憲(ハイバイ)、他 公演スケジュール等詳細は劇場HPへ
小ホール1 17日～ 11月1日	「芸劇 eyes」五反田団『生きてものはいないのか』 『生きてものか』 作・演出:前田司郎 出演:遠藤留奈、大山雄史、飯田一期、石澤彩美、他 公演スケジュール等詳細は劇場HPへ
大ホール 21日	ランチタイム・パイプオルガンコンサートvol.82 出演:吉田愛 開演:12:15 無料

東京都美術館 TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM	
公募展 ●休館日:19日(月)	
一水会展 美術の祭典東京展 青根展 新槐樹社秋季展 秋の独立選抜書展・ 全国高校生大作書道展 極美展 NAU21世紀美術連立展 現水展 一線展 元陽展 研展 日本表現派展	日本文人画府展 創展 汎美・秋季展 AJAC展 水彩人展 NPO南画院展 創画展 新協美術展 新作家展 ima展 総合写真展 新匠工芸会公募展

アート&カルチャーカレンダー

ART & CULTURE CALENDAR

■休館日は各館異なります。カレンダー下の休館日欄をご確認ください。
○下記は主な企画展と関連イベント、主催公演を中心としたスケジュール表です。企画展以外に、常設展示室、映像ライブラリー、図書室を利用できる館もあります。○掲載した情報は2009年9月現在の情報です。やむを得ない事情などで開催予定などが変更になることがあります。○掲載情報以外の催事、入場料、その他詳細については、各館のホームページでもご案内しています。

NOVEMBER		1日	2月	3火	4水	5木	6金	7土	8日	9月	10火	11水	12木	13金	14土	15日	16月	17火	18水	19木	20金	21土	22日	23月	24火	25水	26木	27金	28土	29日	30月
東京都庭園美術館 TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM		日本磁器ヨーロッパ輸出350周年記念 パリに咲いた古伊万里の華 10月10日—12月23日															●フロアレクチャー 14日 15:30—		フロアレクチャー 28日 15:30—●												
東京都江戸東京博物館 TOKYO METROPOLITAN EDO-TOKYO MUSEUM	特別展	よみがえる浮世絵—うるわしき大正新版画—展 9月19日—11月8日																				いけばな—歴史を彩る日本の美— 11月23日—2010年1月17日									
	企画展	えどはくでおさらい! 江戸時代~教科書でみたあの人、この絵~ 10月6日—11月29日																													
江戸東京たてもの園 EDO-TOKYO OPEN AIR ARCHITECTURAL MUSEUM	展示室	甲武鉄道と多摩~中央線開通120周年記念~ 10月10日—12月20日																				ミュージアムトーク 29日 14:30—●									
	園内	●こどもふれあい劇場 3日 ●—● 伝統工芸の実演 7日— 8日 10:30—															武蔵野えどまる団 28日—29日 12:00—●●● クリスマスリースづくり 28日—29日 13:00—●●● ミュージアムトーク 28日 14:30—●●●														
東京都写真美術館 TOKYO METROPOLITAN MUSEUM OF PHOTOGRAPHY	3F 展示室	コレクション展「旅」第3部 異邦へ 日本の写真家たちが見つけた異国世界 9月29日—11月23日															木村伊兵衛とアンリ・カルティエ=ブレッソン 11月28日—2010年2月7日														
	2F 展示室	セバスチャン・サルガド AFRICA—生きとし生けるものの未来へ 10月24日—12月13日																													
	B1F 展示室	第20回日本写真作家協会展 第7回JPA公募展 10月17日—11月1日										写真新世紀東京展2009 11月7日—11月29日																			
	常設展示室	MOTコレクション 10月31日—2010年1月24日																													
東京都現代美術館 MUSEUM OF CONTEMPORARY ART TOKYO	企画展示室1・3F	レベッカ・ホルン展 10月31日—2010年2月14日																													
	企画展示室 B2F	ラグジュアリー：ファッションの欲望 10月31日—2010年1月17日																													
東京都美術館 TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM	企画展示室	冷泉家 王朝の和歌守展 10月24日—12月20日																													
トーキョーワンダーサイト TOKYO WONDER SITE	本郷1F	Oコレクションによる空想美術館 第8室 天野・栗原・森元の部屋— オルタナ(ポスト)モダン2 10月31日—12月20日																													
	本郷2・3F	TWS-Emerging 125/126/127 小畑多丘、有賀礼、林田健 10月31日— 11月22日										TWS-Emerging 128/129/130 寺澤伸彦、モニラ・アルカディリ、石塚智寿 11月28日—12月20日																			
	渋谷	環境展「絶・景—真空のゆらぎ」 8月1日—11月8日																				アートの課題：On the Agenda of the Arts 11月21日—2010年1月17日									
	青山																					オープンスタジオ 28日 14:00—18:00 ●									

●休館日：月曜日(祝日の場合は翌日) ※東京都庭園美術館は第2・4水曜日休館 ※トーキョーワンダーサイト本郷は23日(月)~27日(金)休館

東京文化会館 TOKYO BUNKA KAIKAN	
主な主催公演 ●休館日:11日(水)、12日(木)	
小ホール 6日	レクチャーコンサート「作曲家の挑戦」シリーズ 第3回「ピアノ300年の旅」 菊池洋子(ピアノ) 開演:19:00(開場18:30)
大ホール 10日	東京文化会館バックステージツアー 開始時間:10:30/14:30
小ホール 13日	モーニングコンサートVol.31 上村文乃(チェロ)、安宅薫(ピアノ) 開演:11:00(開場10:30)
ホワイエ 13日	ティータイムコンサート 開演:13:00
小ホール 20日	東京文化会館プレミアムコンサート ブラジャーク・クワルテット 開演:19:00(開場18:30)

東京芸術劇場 TOKYO METROPOLITAN ART SPACE	
主な主催公演 ●休館日:9日(月)	
大ホール 12日	ランチタイム・パイプオルガンコンサートvol.83 出演:新山恵理、福井健太(サクソフォーン) 開演:12:15
大ホール 15日	第1回音楽大学オーケストラ・フェスティバル 出演:東邦音楽大学、洗足学園音楽大学 開演:15:00(開場14:30)
小ホール2 19日-22日	『赤鬼』タイ大衆演劇「リケエ」バージョン 出演:バンコク・シアター・ネットワーク(BTN) 公演スケジュール等詳細は劇場HPへ
小ホール1 20日-23日	『農業少女』タイ現代演劇バージョン 出演:バンコク・シアター・ネットワーク(BTN) 公演スケジュール等詳細は劇場HPへ

東京都美術館 TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM		
公募展 ●休館日:16日(月)		
都展	書心展	日本きりえ美術展
国際美術大賞展	21美術展	東京私立中学高等学校生徒
創元展	日本自由画壇秋季展	—写真・美術展
逢玄展	秋耕展	全日中展
現代童画展	瓦・造形展	大洋展
近美展	大翔展	創作手工芸展
中美展	日本版画会展	日本和紙絵画展
全陶展	太陽美術展	玉響会展
彩美展	新院展	
群炎展	風子会展	
大東書道院展	サロン・デ・ボザール展	
JAG展	新美展	
新芸術展	日本新水墨派展	

12

アート&カルチャーカレンダー ART & CULTURE CALENDAR

■休館日は各館異なります。カレンダー下の休館日欄をご確認ください。
○下記は主な企画展と関連イベント、主催公演を中心としたスケジュール表です。企画展以外に、常設展示室、映像ライブラリー、図書室を利用できる館もあります。○掲載した情報は2009年9月現在の情報です。やむを得ない事情などで開催予定などが変更になることがあります。○掲載情報以外の催事、入場料、その他詳細については、各館のホームページでもご案内しています。

DECEMBER		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
東京都庭園美術館 TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM		日本楽器ヨーロッパ輸出350周年記念 パリに咲いた古伊万里の華 10月10日—12月23日 ●フロアレクチャー 12日 15:30—																									28日から1月3日まで休館					
東京都江戸東京博物館 TOKYO METROPOLITAN EDO-TOKYO MUSEUM	特別展	いけばな～歴史を彩る日本の美～ 11月23日—2010年1月17日																									28日から1月1日まで休館					
	企画展	忠臣蔵展(仮称) 12月12日—2010年2月7日 將軍綱吉と元禄の世(仮称) 12月15日—2010年2月7日																														
江戸東京たてもの園 EDO-TOKYO OPEN AIR ARCHITECTURAL MUSEUM	展示室	甲武鉄道と多摩～中央線開通120周年記念～ 10月10日—12月20日 ミュージアムトーク 20日 14:30—●																									28日から1月4日まで休館					
	園内	●—● 正月飾りづくり 5日—6日 10:30— ●—● 伝統工芸の実演 5日—6日 10:30— ●—● 武蔵野えどまる団 19日—20日 12:00— ミュージアムトーク 26日 14:30—●																														
東京都写真美術館 TOKYO METROPOLITAN MUSEUM OF PHOTOGRAPHY	3F 展示室	木村伊兵衛とアンリ・カルティエ＝ブレッソン 11月28日—2010年2月7日																									28日から1月1日まで休館					
	2F 展示室	セバスチャン・サルガド AFRICA—生きとし生けるものの未来へ 10月24日—12月13日 日本の新進作家展vol.8 「出発—6人のアーティストによる旅」 12月19日—2010年2月7日																														
	B1F 展示室	第10回上野彦馬賞展 12月5日—12月13日 映像をめぐる冒険vol.2 アニメーション 欲動する身体(仮称) 12月22日—2010年2月7日																														
東京都現代美術館 MUSEUM OF CONTEMPORARY ART TOKYO	常設展示室	MOTコレクション 10月31日—2010年1月24日																									28日から1月1日まで休館					
	企画展示室1・3F	レベッカ・ホルン展 10月31日—2010年2月14日																														
	企画展示室 B2F	ラグジュアリー：ファッションの欲望 10月31日—2010年1月17日																														
東京都美術館 TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM	企画展示室	冷泉家 王朝の和歌守展 10月24日—12月20日 23日から1月3日まで休館																														
トーキョーワンダーサイト TOKYO WONDER SITE	本郷1F	Oコレクションによる空想美術館 第8室 天野・栗原・森元の部屋— オルタナ(ポスト) モダン2 10月31日—12月20日																									28日から1月4日まで休館					
	本郷2・3F	TWS-Emerging 128/129/130 寺澤伸彦、モニラ・アルカディリ、石塚智寿 11月28日—12月20日																														
	渋谷	アートの課題：On the Agenda of the Arts 11月21日—2010年1月17日																														
	青山																															

●休館日：月曜日 ※東京都庭園美術館は第2・4水曜日休館、23日(水)臨時開館・25日(金)～27日(日)は美術館のみ休館(庭園は入園可)

東京文化会館 TOKYO BUNKA KAIKAN		主な主催公演 ●休館日:14日(月)、15日(火)	
小ホール 4日	創造・楽落らいぶVol.10 瀧川鯉昇(落語) 開演:11:00(開場10:30)		
小ホール 9日	モーニングコンサートVol.32 吉川日奈子(ソプラノ)、 吉川日沙子(ピアノ) 開演:11:00(開場10:30)		
大ホール 16日	青少年のための舞台芸術体験プログラム スケジュール等詳細は施設HPへ		
小ホール 11日-12日	舞台芸術創造プログラム「隅田川」&『万葉集』 ※詳細はP16参照		
ホワイエ 17日	ティータイムコンサート 開演:13:00 無料		
小ホール 22日	東京文化会館プレミアムコンサート クラシカル・プレイヤーズ 東京 バロック de クリスマス 開演:19:00(開場18:30)		

東京芸術劇場 TOKYO METROPOLITAN ART SPACE		主な主催公演 ●休館日:14日(月)、28日(月)—2010年1月3日(日)	
小ホール1 9日-23日	「芸劇 eyes」グリング『jam』 作・演出:青木豪 出演:グリング、小松和重、廣川三実、 松本紀保、他 公演スケジュール等詳細は劇場HPへ		
大ホール 13日	第1回音楽大学オーケストラ・フェスティバル 出演:東京音楽大学、国立音楽大学 開演:15:00(開場14:30)		
大ホール 17日	東京芸術劇場 パイプオルガンコンサートvol.12 ※詳細はP18参照		

東京都美術館 TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM			公募展 ●休館日:21日(月)、23日(水・祝)—2010年1月3日(日)		
大潮展	ローマン展	新日陶展			
流形展	現創展	書真会展			
連展	白亜展	国画会彫刻部秋季展			
勤労者美術展	地平展				
温知会書道展	日本書道学院展				
国画展	日輝展				
ニュークリエイティブ展	雪染舎フィレンツェ賞展				
ハート・アート・コミュニ ケーション展	書壇展				
新日美展	洗心全国書道展				
太平洋美術会東京支部展	書学会展				
清興展	鶏聲展				
日本手工芸美術展覧会	全日展				
	三鼎書道展				

東京文化発信プロジェクト

TOKYO CULTURE CREATION PROJECT



東京文化発信プロジェクト
東京から生まれる新しい文化の波

東京文化発信プロジェクトは、東京ならではの芸術文化の創造・発信、芸術文化を通じた子供たちの育成を目的として、東京都と東京都歴史文化財団が芸術文化団体、アートNPO等と協力して実施しているプロジェクトです。

東京発・伝統WA感動 (伝統芸能フェスティバル)

10月1日(木) 邦楽コンサート「東都の秋 月を奏でる」<邦楽>

会場: 東京芸術劇場 大ホール

10月11日(日) 落語「道具仕立て芝居ばなし」<落語>

会場: 江戸東京博物館ホール

11月21日(土) 民俗芸能「東京・江戸の賑わい」<民俗芸能>

会場: 国立劇場小劇場

「東都の秋 月を奏でる」では、作曲家の千住 明氏がオーケストラと邦楽のクラボレーションを展開します。その他、落語や民俗芸能もお楽しみください。

入場料: 有料 主催: 東京都、東京文化発信プロジェクト室(財団法人東京都歴史文化財団)、東京発・伝統WA感動実行委員会
※詳細は公式ホームページ <http://www.dento-wa.jp> をご覧ください。



国立劇場舞踊公演より

東京大茶会 2009

10月10日(土) — 11日(日) 会場: 江戸東京たてもの園

10月17日(土) — 18日(日) 会場: 浜離宮恩賜庭園

和のこころ、茶のこころを感じていただく「東京大茶会」では、基本的な作法のご紹介もいたしますので、初めての方も安心。外国人の方や親子での参加も大歓迎です。

入園料: 浜離宮恩賜庭園(有料)※江戸東京たてもの園は「東京大茶会」開催につき入園無料 参加料: 野点200円、子供茶道体験200円、英語で野点300円(浜離宮恩賜公園のみ) 主催: 東京都、東京文化発信プロジェクト室(財団法人東京都歴史文化財団)
※詳細は公式ホームページ <http://www.tokyodaichakai.jp> をご覧ください。



フェスティバル/トーキョー 09 秋

10月23日(金) — 12月21日(月)

東京発の舞台芸術祭「フェスティバル/トーキョー」。2回目となる今回も、演劇やダンスといった、世界最先端の舞台表現を時差なく日本で発信します。

主催: 東京都、東京文化発信プロジェクト室(財団法人東京都歴史文化財団)、フェスティバル/トーキョー実行委員会
※詳細は公式ホームページ <http://festival-tokyo.jp> をご覧ください。

F/T09

フェスティバル/トーキョー



さまざまな人やまちを、アートによってつなぐことに興味のある方を募集しています。インターン・プログラム「シッカイ屋」では、人、まち、活動の間を結ぶ、あらゆる仕事(=志業)をする専門家を育成します。東京のまちなかに、新たな出会いを生み出してみませんか。

<http://www.bh-project.jp/artpoint/app/intern.html>

東京文化発信プロジェクト室 地域文化交流推進担当 石田喜美

<http://www.bh-project.jp>
TEL:03-5638-8800(東京文化発信プロジェクト室)

Tokyo Art School

第3回 10月17日(土) はじっこから東京を考える

坂口恭平(建築探検家)×萱野稔人(津田塾大学学芸学部国際関係学科准教授・哲学者)

第4回 11月22日(日) プロダクションという方法

浅井隆(アップリンク主宰)×藤城里佳(無人島プロダクション共同設立者)

第5回 12月12日(土) 特殊な東京

アンドリュー・マークル(フリーランス・ライター/編集者)×マーク・ダイサム(クライン ダイサム アーキテクト(KDa)/建築家)



各分野の専門家とともに、今まで思いもよらなかったユニーク視点から「東京」像を探るレクチャーシリーズ。東京に潜む新たな文化力を発見してください。

主催: 東京都、東京文化発信プロジェクト室(財団法人東京都歴史文化財団)、特定非営利活動法人アーツイニシアティヴトウキョウ(AIT)
※詳細は公式ホームページ <http://www.bh-project.jp/artpoint/lecture> をご覧ください。

墨東まち見世 2009

9月1日(火) — 12月9日(水) ※11月にコア期間を予定しております。

下町情緒が残り、「新タワー」が建つ町としても注目を集める向島を舞台に、町の魅力を引き出すアートプロジェクトやワークショップを行います。

会場: 墨東エリア(曳舟・京島・東向島・八広・押上) 主催: 東京都、東京文化発信プロジェクト室(財団法人東京都歴史文化財団)、特定非営利活動法人向島学会 ※詳細は公式ホームページ <http://www.machimise.net> をご覧ください。

東京都歴史文化財団からのお知らせ

●(財)東京都歴史文化財団をご支援いただいている皆様(2009年9月現在)

- 株式会社 伊勢丹
- 財団法人 東京都道路整備保全公社
- 株式会社 トータルテクノジャパンHDS
- シャネル 株式会社
- 東京都職員信用組合
- 他5団体
- 株式会社 東京ビッグサイト
- 株式会社 はとバス

*支援金は、当財団が自主的に実施するさまざまな文化事業に役立てております。*ご支援いただいた方には、さまざまなサービスを提供いたします。*随時ご支援(1口50,000円)を受け付けております。個人・法人を問いません。*匿名希望の方のお名前は掲載しておりません。<http://www.rekibun.or.jp/support>

●パートナーシップにご入会いただいている学校(2009年9月現在)

- 跡見学園女子大学
- 大正大学
- メイ・ウシヤマ学園
- マネジメント学部
- 東京造形大学
- ハリウッド大学院大学
- 国際基督教大学
- 東京ビューティーアート専門学校
- ハリウッドビューティー専門学校
- 首都大学東京
- 花田学園
- 立教大学
- 昭和女子大学
- 武蔵野美術大学
- 立正大学

*ご入会いただいた学校の学生は、当財団所管の美術館・博物館の常設展に無料で入場できます。また、事前のお申し込みとお打ち合わせによって、教育活動の連携、コンサートや演劇の割引、常設展ガイドツアーの参加、学芸員資格取得のための実習生受け入れ(1校1名)など、さまざまなサービスを提供いたします。(詳細についてはご相談の上、決定いたします) <http://www.rekibun.or.jp/promotion/partnner.html>

地図&インフォメーション

財団法人 東京都歴史文化財団 トーキョー・アート・ナビゲーション
<http://www.rekibun.or.jp> <http://tokyoartnavi.jp>

(財)東京都歴史文化財団管轄施設の観覧料について(対象:東京都庭園美術館の庭園、東京都江戸東京博物館、江戸東京たてもの園及び東京都現代美術館の常設展、東京都写真美術館の収蔵展・映像展)
 ●部内在住・在学の中学生・小学生は無料。●65歳以上の方は、一般料金の半額。●毎月第3土曜、第3日曜(家族ふれあいの日)は、18歳未満のお子さまを同伴する方は半額。●観覧料の記載がない場合は、展覧会、催物によって金額が異なります。

01 東京都美術館 TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM



TEL: 03-3823-6921 WEB: <http://www.tobikan.jp> 所在地: 〒110-0007
 台東区上野公園8-36 開: 9:00-17:00 休: 毎月第3月曜日、企画展は月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始・工事休館日 交通: JR上野駅公園口より徒歩7分 / 東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅7番出口より徒歩10分 / 京成電鉄上野駅より徒歩10分

02 東京文化会館 TOKYO BUNKA KAIKAN



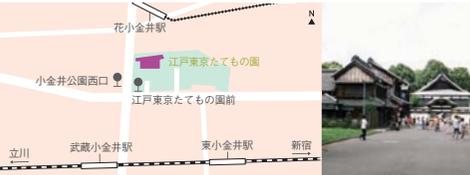
TEL: 03-3828-2111 WEB: <http://www.t-bunka.jp> 所在地: 〒110-8716
 台東区上野公園5-45 開: 9:00-22:00 休: 年末年始・保守点検日・他 交通: JR上野駅公園口より徒歩1分 / 東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅7番出口より徒歩5分 / 京成電鉄上野駅より徒歩5分

03 東京都江戸東京博物館 TOKYO METROPOLITAN EDO-TOKYO MUSEUM



TEL: 03-3626-9974 WEB: <http://www.edo-tokyo-museum.or.jp> 所在地: 〒130-0015
 墨田区横網1-4-1 開: 9:30-17:30(土・19:30) 休: 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始・国技館で大相撲本場所開催中は開館 観覧料: <常設展>一般600円・大学生480円・65歳以上300円・中・高生300円・小学生・都内中学生無料 交通: JR両国駅西口より徒歩3分 / 都営大江戸線両国駅A4出口より徒歩1分

11 江戸東京たてもの園 EDO-TOKYO OPEN AIR ARCHITECTURAL MUSEUM



TEL: 042-388-3300 WEB: <http://www.tatemoen.jp> 所在地: 〒184-0005
 小金井市桜町3-7-1 開: 9:30-17:30(10~3月・16:30) 休: 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始 観覧料: 一般400円・大学生320円・65歳以上200円・中・高生200円・都内中・小学生無料 交通: JR武蔵小金井駅北口よりバス・2・3のりばより「小金井公園西口」下車徒歩5分 / 4のりばより「江戸東京たてもの園前」下車徒歩3分 / 西武新宿線花小金井駅南口よりバス・「南花小金井」(小金井街道沿い)バス停より「武蔵小金井駅」行、「小金井公園西口」下車徒歩5分

10 東京芸術劇場 TOKYO METROPOLITAN ART SPACE

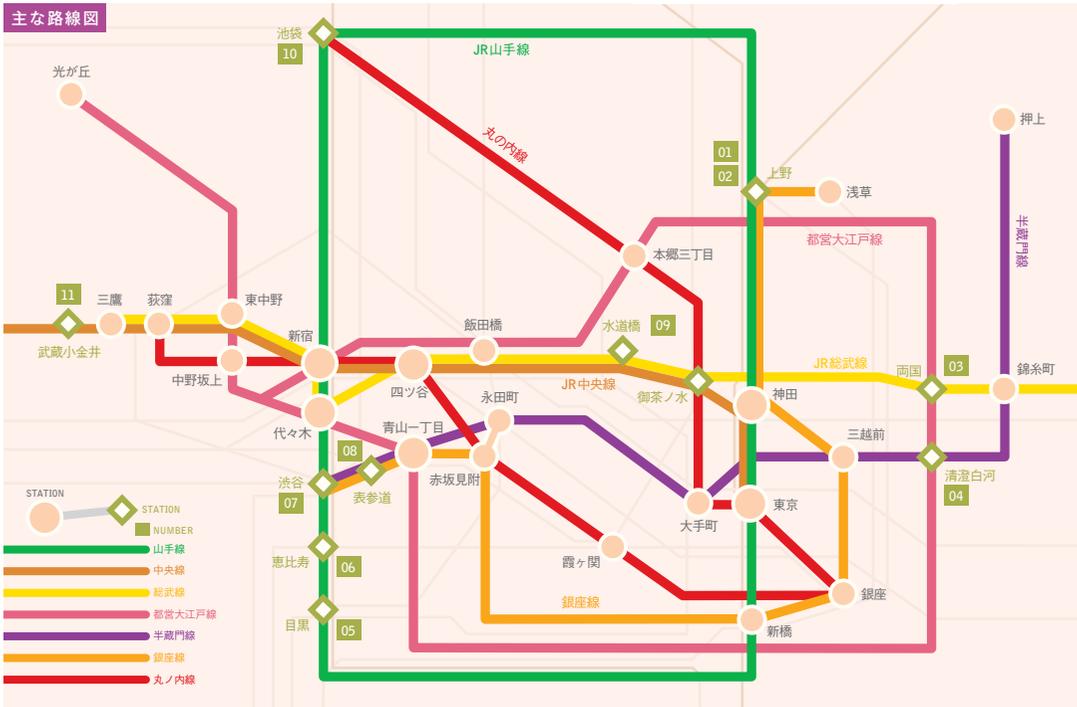


TEL: 03-5391-2111 WEB: <http://www.geigeki.jp> 所在地: 〒171-0021
 豊島区西池袋1-8-1 開: 9:00-22:00 休: 年末年始・保守点検日(毎月2日間程度)・工事休館日(6月12日間程度) 交通: JR・東武東上線・西武池袋線・東京メトロ丸の内線・有楽町線・副都心線池袋駅西口より徒歩2分

09 トーキョーワンダーサイト本郷 TOKYO WONDER SITE HONGO



TEL: 03-5689-5331 WEB: <http://www.tokyo-ws.org> 所在地: 〒113-0033
 文京区本郷2-4-16 開: 11:00-19:00 休: 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始 交通: JR御茶ノ水駅・水道橋駅、東京メトロ丸の内線御茶ノ水駅、都営大江戸線本郷三丁目駅各駅よりそれぞれ徒歩7分



08 トーキョーワンダーサイト青山 TOKYO WONDER SITE Aoyama Creator-in-Residence



TEL: 03-5766-3732 WEB: <http://www.tokyo-ws.org> 所在地: 〒150-0001
 渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山SOUTH棟3F 開: オープンスタジオ、レクチャー等開催時のみ一般開館 交通: 東京メトロ銀座線・千代田線・半蔵門線 表参道駅B2出口より徒歩7分

07 トーキョーワンダーサイト渋谷 TOKYO WONDER SITE SHIBUYA



TEL: 03-3463-0603 WEB: <http://www.tokyo-ws.org> 所在地: 〒150-0041
 渋谷区神南1-19-8 開: 11:00-19:00 休: 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始 交通: JR・東急東横線・京王井の頭線・東京メトロ銀座線・半蔵門線・副都心線渋谷駅ハチ公口より徒歩8分

06 東京都写真美術館 TOKYO METROPOLITAN MUSEUM OF PHOTOGRAPHY



TEL: 03-3280-0099 WEB: <http://www.syabi.com> 所在地: 〒153-0062
 目黒区三田1-13-3(恵比寿ガーデンプレイス内) 開: 10:00-18:00(木・金・20:00) 休: 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始 交通: JR恵比寿駅東口より徒歩7分 / 東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩10分